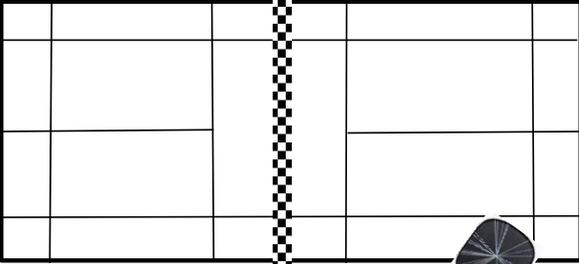


団体名：

テニス連盟 3
ソフトテニス連盟 2

係名	ピククルボール	役員数	5名
場所	メインアリーナ（左手奥）		
運営責任者	根本 哲也（ソフトテニス） 北村 和夫（テニス）		

運営内容	レイアウト（図）
<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンコート 1コート分使用 ・受付（体験コーナー用）：名簿記入 ・スタンプカードにシールを貼る。 ・簡単な指導 ・ラリーができる方はゲーム ・14：30で受付終了 	<p>メインアリーナ</p> <p><u>バドミントンコートを使用する。</u></p>  <p>※ネットの高さ 中央部で80cm・支柱85cm（規格） 年少者の場合は低くすることは可能です。</p> 
<p>競技の説明とルール（参考）</p> <p>ピククルボールとは、1960年代にアメリカで生まれたラケットスポーツです。テニスと卓球とバドミントンとを掛け合わせたような特徴があり、ラリーのしやすさから幅広い世代の人々に受け入れられています。</p>	
<p>ゲームルール</p>	<p>ピククルボールは、3セットマッチまたは5セットマッチで行なわれることが一般的です。1セットは11点先取で行ないます。ただし10対10になった場合はテニスでいうデュースの状態となり、2点差がつくまで延長します。</p>
<p>サーブ</p>	<p>テニスと同じく、ピククルボールもサーブからゲームが始まります。ただしテニスと違って、サーブは必ずアンダーサーブを打たなければいけません。つまり、腰より下の位置で、ラケットは下から振るように打ちます。</p> <p>また、テニスにはセカンドサーブがありますが、ピククルボールでのサーブは1回のみです。さらにテニスにはレットルールがありサーブがネットインしたらやり直しとなりますが、ピククルボールの場合はサービスレットが廃止されており、サーブがネットインしてもプレー続行となります。</p>
<p>サーブの順番</p>	<p>ラリーで勝ち続けている限りは、同じ人がサイドを変えながらサーブを打ちます。ダブルスの場合は、自分とペアそれぞれにサーブを打つ機会を与えられるため、サーブをミスしたりラリーで負けると、サーブ権は自分のペアに移ります（ただしゲーム開始時は、1回目のミス後、すぐに相手にサーブ権が移ります）。</p> <p>自分のペアのサーブで始まったラリーも負けた時点で、サーブ権は相手に移ります。相手もペアそれぞれにサーブを打つ機会が回るので、相手のサーブで始まるラリーで2回勝つと、再度自分の側にサーブ権が回ってくるようになります。</p>
<p>ポイント</p>	<p>ポイントの入り方がピククルボールにおける、最も独特なルールと言えるかもしれません。</p> <p>ピククルボールはラリーポイント制ではなく、ポイントはサーバー側にしか入りません。つまり、自分またはペアのサーブから始まったラリーで勝てばポイントが入り、相手のサーブから始まったラリーで勝つとポイントは入らないがサーブ権を奪取することができる、ということです。サーブ権を持っていないとポイントを獲得できないというのは、テニスを始めとする他のラケットスポーツやネットスポーツとは大きく異なるルールです。</p>
<p>カウントコール</p>	<p>ピククルボールにおけるカウントのコールの仕方もテニスとは異なります。</p> <p>自分のポイント、相手のポイントの順に、サーバーがカウントをコールするのはテニスと同じですが、ピククルボールの場合は、さらに自分がペアの中で何人目のサーバーなのかを加えた3つの数字を伝えます。つまり「自分のポイント、相手のポイント、サーバーの順番」を声に出し、「ゼロゼロツー」、「ファイブスリーワン」などといった具合にカウントします。</p>
<p>ツバウンドルール</p>	<p>サーバー側は、相手のリターンボールをボレーすることはできません。必ず相手のリターンボールが自分のコートでワンバウンドしてから返球しなければならぬため、テニスでいうサーブアンドボレーはできないこととなります。</p> <p>これが「ツバウンドルール」と呼ばれるのは、ラリーの初めには必ず、1球目（サーブ）のバウンド=ワンバウンド、2球目（リターン）のバウンド=ツバウンドを挟まなければならないことに由来しています。</p>
<p>ノンボレーゾーン</p>	<p>相手のリターンが通ってラリーが始まればボレーをすることができますが、テニスと違って、ネットから2.1メートルの範囲はノンボレーゾーン（通称「キッチン」）という、ボレーしてはいけないゾーンが設けられています。つまり、ボレーは少なくともネットから2.1メートル以上離れた位置から打つことが可能です。</p> <p>ネット付近からボレーをすることや、ボレーを打った直後に勢いあまってノンボレーゾーンに体が入ることはファウルとなります。</p>
<p>その他のファウル</p>	<p>ボールを体で打ち返すこと、ボールがプレーヤーの身体や着衣に触れた場合はファウルとなります。</p>

物品名	個数	物品名	個数
長机(開会式で使用した机：グレー)	1	卓球用フェンス（北側器具庫）	12
イス（北側非常口）	4	種目の看板	1
ショートテニス用ネット（スポ協倉庫）	1	体験コーナー受付簿	2
サイドポール（ショートテニス用）（スポ協倉庫）	2	筆記用具・・・ボールペン	3
パドル	6	シール	1式
ボール	8		